

公開授業日の学習

(1)ねらい

身近な地域の交通の特徴や広がり、利便性について、問いを見だし、身近な地域の様子について考え表現している。【思考・判断・表現】

(2) 展開

予想される学習活動・児童の意識の流れ

市内電車について気になったことを調べ、まとめよう。

**1 個々の調べる事柄を確認する**

市電の近くに住む自分たち

それぞれの市電の気になること

車両の秘密について調べよう

市電と他の乗り物を比べてみよう

市役所の人は、どうして市電を使ってもらいたいのだろう

市電の歴史が気になるな

**2 自由に関わり合いながら、個々の調べ活動を進める**

情報収集方法

まだまだ隠されている秘密があるから、資料を中心に調べよう。

比較

前に、電車、市電、バス、タクシー、徒歩の富山駅から南富山駅までの料金を調べたよ。今度は早さについて調べよう。

料金

それぞれの調べ活動の共通点で交流する。

昔から今まで市電が動いているのは、富山に住む人に便利に過ごしてもらいたいという願いや思いからだったんだね。

でも今は車を持つ人が多いよね。移動するときの市電のよさは分かったけど、移動する以外にも、市電のよさって何かあるのかな？

市電を運行する人の願いや思い

よさ

立場

昔富山に住んでいた人にとって

**3 学習を振り返る**

まだまだ秘密がありそうだと思います。わたしたちの富山市や資料はわりと少なく、実際に見に行きたいですね。もっともっと秘密を探りたいです。

富山には色々な乗り物があるけれど、それぞれのよさや便利なポイントが分かってきました。どれがよくて、どれがよくないではなくて、立場によって使い分けられるのかなと思いました。

市役所が作っている路面電車の資料から、市電とまちづくりがつながってきていることも分かってきたよ。市電とみんなのまちのつながりにも秘密がありそうだね。

市電の歴史を調べていて、みんなの生活の中で移動する道具は必要だと思いました。昔は市電中心で、今は車が中心になっていると思います。けれども、どちらかだけがいいとは思いません。どちらもよさや利便性があるからです。

教師の支援 ○ 評価の観点 ☆

- 第一次の内容をいっつも確認できるように、掲示物を作成して参照できるようにする。【過程】
- 途中参照することで、自分の取組に生かしたり、意欲化を図ったりするとともに、一人一人が何をテーマにして調べ活動を始め、どんな学習過程にあるのかを把握するために、Jamboardを用意し、教師も含め全員で共有する。【過程・形態】
- 情報の集め方の基礎・基本を確認するために、まずはインタビュー、教科書と副読本(わたしたちの富山市)、図書資料で情報収集し、それでも分からないことをインターネットで調べることとするなど、情報収集の手順を提示する。【過程】
- 自分の考えの参考にしたり、自分の意見を持つことが難しい子が参考にできるようにするために、振り返りシートやJamboardで今までの自分の振り返りや気付き、気になることを他者参照できるようにする。【過程・形態】
- 次時以降の学習のため、自分の学習の足跡を残せるように、調べ活動中に出た気付きや疑問は書き残すように声をかけたり「**ア**」で位置付けたりする。【課題・過程】
- 自分で学習を進めるときの手がかりにするために、キーワードとなる言葉や富山市の見方につながる言葉を掲示しておく。【過程】
- 子供たちが、専門の方に質問したいと思ったときに質問できるように、Googleフォームで質問を受け付け、返信できるようにする。【過程・形態】
- 自分自身の学びの蓄積を自覚したり、友達との学びを確認したりするために、自分の調べ活動の経過や振り返りを記入して積み重ねることができるスプレッドシートを用意する。【課題・過程】
- ☆ 子供が社会的な見方・考え方を働かせながら、身近な地域の交通の特徴や広がり、利便性等と公共交通との関わりについて自分なりの視点で問いをもち、情報を集めることができたか。(制作物、スプレッドシート)

(3) 視点

子供が社会的な見方・考え方を働かせながら、身近な地域の交通の特徴や広がり、利便性等と公共交通との関わりについて考えるために、場の設定や教師の声かけは適切だったか。

主体性の目安となる自己調整の度合い					
学習課題		学習過程		学習形態	
教師	子供	教師	子供	教師	子供
4	6	3	7	2	8